

12.4 中国電力東京支社前抗議

中国電力は、島根原発 2号機の再稼働をやめろ

福島第1原発と同じ沸騰水型原発の再稼働！

3.11 闘争実行委員会 杉並区下高井戸 1-34-9 第一センター

中国電力は、島根原発2号機の再稼働を強行しようとしています。この原発は、炉心溶融・爆発事故を起こした福島第1原発と同じ沸騰水型原発です。

東北電力・女川原発の再稼働が10月に強行されており、政府・電力資本はこれらを突破口として、沸騰水型原発の再稼働の道筋をつけようとしています。

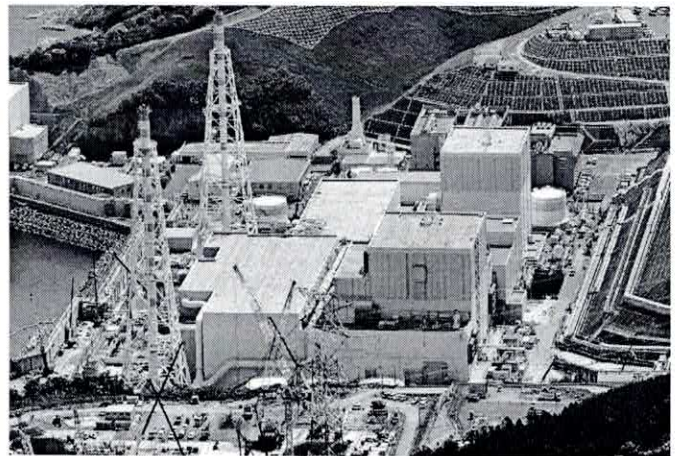
しかし、福島原発事故の検証も出来ておらず、デブリの取り出しも出来ず廃炉の見通しも立たない状況で、同型の原発を動かすことは危険です。

県庁所在地にある唯一の原発

中国電力は、10月28日に燃料装填を開始し、12月7日にも再稼働を行い、下旬から発送電を始めると発表しています。12年1月に定期検査のため運転停止してから、実に13年ぶりとなります。こんなに長期に動いていないものが、トラブルなく進むのでしょうか？ 女川原発でも10月の稼働直後わずか6日でトラブルが発生し運転停止しました。

島根原発から30キロ圏内の人口は、島根・鳥取両県で45万人。県庁所在地にある唯一の原発で、半径20キロに都市・行政機能が集中する松江市のほぼ全域が入ります。事故が起こったら、大混乱になるのは必至です。

さらに、島根原発2号機の南側約2キロのところ



中国電力は、島根原発の再稼働をやめろ。すべての原発を今すぐ廃炉に。

を東西に走る宍道（しんじ）断層の危険性が指摘されています。かつて建設当初は中国電力が「無い」とっていた断層が、98年8キロ、04年10キロ、08年22キロ、現在は39キロと次々と認定され、さらに、その東側には鳥取沖断層があります。これらが動き地震が発生すると、原発への影響はさげられません。

また、中国電力は関西電力と共同で、山口県上関町に中間貯蔵施設の建設を計画しています。すでに4月から11月に、ボーリング調査を行っています。多くの反対の声を押しつぶして強行しているのです。徹底して弾劾します。

事故が起きたら避難できない

今年1月の能登地震により、地震・津波などを起因とする原発災害（複合災害）の危険性が再度明らかになりました。

避難する道路が寸断されて逃げることもできない、放射線を一時的に避けるとされる「屋内退避」

も家屋自体が倒壊しているなど、安全に避難することができない状況になります。現状の避難計画はまさに「机上の空論」となっています。特に、活断層付近の原発、津波が想定される海岸線・半島部の原発は危険です。

沸騰水型炉で水素爆発は本当に防げるのか？

福島第1原発事故では、全電源喪失で運転中の原子炉がすべて冷却不能となって炉心溶融を起こし、その過程で1号機・3号機・4号機の原子炉建屋が爆発しました。この沸騰水型炉が爆発にいたった経過はいまだに解明されていないことが多くあります。

新規制基準では、沸騰水型原発の水素爆発対策として、格納容器のフィルター付ベント設備や建屋最上階の触媒式水素再結合器（水素を酸素と結合させて水にする装置）の設置が義務づけられました。しかし、炉心溶融や水素ガスの発生・流出

経路もわかっていないのに、ベントで都合良く水素を放出できるわけがありません。水素再結合器は、水素以外の可燃性ガスにはまったく効果がないし、水素が最上階の水素再結合器に達するまえに爆発する可能性や、過酷事故で大量発生する水素に対して処理能力が低いという問題もあります。

こうして政府・電力資本は、福島第一原発爆発事故を徹底的に検証することなく、新たな「対策」で「安全神話」を作り再稼働を強行しようとしています。

原発は危険、一度の事故被害は甚大、取り返しがつかない！

国や電力会社は、「脱炭素」を名目に、偽りのクリーンエネルギーとして原発を推進しています。福島第1原発事故によって、どれだけの環境が汚染されたか、どれだけの人が健康被害にあい避難を強いられ現在も苦労していることか。原発の稼働、廃炉作業など労働者への被曝が強要されます。

そして、原発は核兵器と同じ技術で作られており、原発の稼働はプルトニウムの発生と潜在的な核兵器保有能力の維持となります。

ロシア大統領プーチンは、11月19日新たな核ドクトリンを公表しました。「核保有国が支援する非核保有国からの侵略行為は、ロシアへの共同攻撃と見なす」という内容で、核兵器先制使用の基準を下げたとされています。核戦争の危険が高まっています。

反原発の闘いととも反戦闘争に決起し、核廃絶に向け、ともに闘いましょう。

【2024.124】

中国電力に抗議しよう！

中国電力本店 広島市中区小町4-33 082-241-0211

東京支社 千代田区丸の内1丁目7-12 サピアタワー 25階